

# 平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	学校開放事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	生涯学習課			
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もができる生涯学習の推進			主管課長	戸部 孝彰		

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民・団体	意図	休日等の学校施設を生涯学習活動を希望する市民や団体に貸出し、活動の場を提供する。
事業内容	学校開放を希望する市民及び市民団体に予め登録していただき、施設利用を希望する校長の承諾のもと申請手続きに基づき許可書を交付。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和53年から実施。各学校ごとに利用者と学校による調整会議を開き、学校の空き時間に開放している。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	活動団体数	9			
②	利用件数	240	205	126	件	↓↓↓	文化活動利用
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 活動団体数は昨年度より増えているが、利用件数は減少しているが、学校以外の施設における活動に推移していると思われる。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		358,900	349,350	345,463			
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)		358,900	349,350	345,463			
人役・職員(人)		0.05	0.05	0.05			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	利用団体へのマナー改善の徹底を図る。	③取り組みの課題	登録団体の構成メンバー情報の更新方法の再考。
②今年度(H26)に実施した取り組み	調整会議等で改めて利用方法などの説明をした。	④今後の改善計画	今後とも学校と連携し、生涯学習活動を希望する市民や団体に貸出し、活動の場を提供する。